

福知山市議会「総務防災委員会」 行政視察研修報告書

- 1 視察日程 令和7年11月13日（木）～14日（金）

- 2 視察先及び調査項目
 - (1) 岡山県倉敷市
「防災・減災の取組について」
 - (2) 岡山県新見市
「新見公立大学 地域共生推進センターの取組について」
 - (3) 大阪府大阪市
「福知山市アンテナショップの視察」

- 3 参加委員
片山正紀（委員長）、中村初代（副委員長）、塩見 聡、小松遼太、
藤本喜章、荒川浩司、大谷洋介、高橋正樹（8名）

- 4 視察経費 総額337,120円（1人あたり42,140円）

- 5 調査報告
別紙のとおり

視 察 日	令和7年11月13日（木）
視 察 先	岡山県倉敷市 人口 471,407人（令和7年10月31日現在） 市面積 356.07km ² 議員定数 43人
調査項目 施策・取組等	防災・減災の取組について
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・本市同様に平成30年7月豪雨により甚大な被害を被った倉敷市真備地区の復興への取り組みを視察し学ぶことにより、本市の今後の防災・減災の取組検討、及び施策の充実に活かすため、視察先に選定した。 ・令和7年9月11日開催の総務防災委員会において、倉敷市への質問事項について協議をおこない、後日、倉敷市より事前提供いただいた質問事項の回答、並びに関係資料をもとに視察研修に向け、それぞれ事前学習をおこなった。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市が連携して取り組まれた「小田川合流点付替え事業」に係る役割分担をお伺いし、国は合流点付替え事業を、県・市はそれぞれの管理河川の堤防嵩上げ等を実施したとの説明を受けた。 ・被災された60歳以上の高齢者の住宅再建支援として、申請者本人負担の利子全体の2分の1を県・市が補助する「リバースモーゲージ型融資制度」を創設し、延べ127件の支援をおこなったとの説明を受けた。 ・小中学校の防災教育により、自分たちの出来ることを考える環境が醸成され、児童生徒の心に根付いていると感じているとの感想をお聞きした。
考察・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大災害からの復興に向け取り組まれた「小田川合流点付替え事業」は、関係機関の連携と国の支援により、当初10年間の工期を5年に短縮され令和6年3月に完成されたところであり、大規模災害からの復興に向けた関係機関の強い熱意を感じた。 ・被災された高齢者の住宅再建支援策である「リバースモーゲージ型融資制度」については、県の支援も得ながら住宅金融支援機構の制度を活用し、住宅再建を後押しするもので、再建意欲のある高齢者にとっては非常に有効な制度であると感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市においては、国・県・市の連携により「小田川合流点付替え事業」等の復旧事業に取り組まれたところであるが、本市においても国・府・沿川市町で構成する「由良川減災対策協議会」並びにその下部組織である「大規模内水対策部会」の更なる連携強化により、今後の重要課題である由良川右岸の内水対策に取り組む必要があると感じた。 ・また、「リバースモーゲージ型融資制度」の導入検討も含め、平時から被災後に備える「事前復興」の考えに基づき、行政も住民も被災を前提にまちの将来像を描く必要性を感じた。

視 察 日	令和7年11月14日（金）
視 察 先	岡山県新見市 人口 25,300人（令和7年10月31日現在） 市面積 793.29k㎡ 議員定数 15人
調査項目 施策・取組等	新見公立大学 地域共生推進センターの取組について
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・新見公立大学は1市4町で構成される広域事務組合により設立された短期大学から、新見市が地方独立行政法人として公立大学法人新見公立大学に改組転換された大学であり、今日までの設立経緯は、福知山公立大学との共通点もあり、非常に参考にさせていただける事例であることから、視察先に選定した。 ・看護学科を中心とする健康科学部と、助産学専攻科、大学院看護学研究科等で構成されているが、大学運営に係る財源充当についての詳細な説明をお聞きし、見識を深めた。 ・新見市が掲げる「地域共生社会構築計画」と連動した「地域共生推進センター」の先進的な取り組みについても、参考とさせていただくため研修をおこなった。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・新見公立大学は、看護・保育・福祉各領域の連携と協働により、人に優しい地域共生社会の実現に貢献するとともに、グローバルな視点で健康科学の深化を図ることを目的とした学生数800名の公立大学である。 ・大学運営に関しては、年間約13億円の運営費を約4億円の学生納付金等と約9億円の市からの運営交付金で財源構成されている。 ・2019年に設置された「地域共生推進センター」は、学生のボランティア活動の支援や地域行事の振興、住民対象の公開講座の開催等の役割を担っており、全学科から選抜された学生が「スチューデント・アシスタント(SA)」としてセンターに所属し地域貢献活動を行っている。
考察・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科等の医療系の学科であることも起因し、福知山公立大学と比較しても国からの交付税参入措置に基づく運営交付金が多額で、安定運営を図ることができる環境にあると感じた。 ・新見公立大学は、人口2万5千人の中山間地域に立地する「保険福祉系の公立大学」であり、地域共生推進センターと学生スタッフ(SA)を軸に、学生主体のまちづくりや地域交流活動に取り組みされており、非常に参考となる取り組みであると感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福知山公立大学において今後学部再編を検討する際には、優位な交付税参入措置の対象となる改組検討が必要であると感じた。 ・福知山公立大学の「北近畿地域連携機構(キターレ)」が、さらに機能強化し、さらなる学生主体のまちづくりを展開するための仕掛けづくりの必要性も痛感した。

視 察 日	令和7年11月14日（金）
視 察 先	大阪府大阪市 人口 2,817,624人（令和7年10月31日現在） 市面積 225.34 km ² 議員定数 81人
調査項目 施策・取組等	福知山市アンテナショップの視察
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市内に情報発信、及び地域産品販売の常設拠点を設けることにより、福知山市の地域産品の知名度向上と販路拡大、並びに福知山市への関心を高めることを目的として、福知山市と一般社団法人福知山地域振興社により、令和7年9月16日に福知山市初の常設型アンテナショップ「福知山ちゃった」として開設された施設の運営状況を調査研究するため視察先に選定した。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・当該アンテナショップは、大阪メトロ「肥後橋駅」と京阪電鉄「渡辺橋駅」に直結し、周辺施設を含む中之島フェスティバルシティ全体で約12,000人が働く一大ビジネス拠点に位置していることから、立地条件としては申し分のない場所であると考えられる。 ・物販事業として、福知山市の加工品を中心とした地域産品の販売を行うとともに、今後は共同区画等で催事販売も予定されている。 ・飲食事業として、「九条ネギと角煮のトマトソーススパゲティ」や期間限定として「鬼盛り万願寺甘とうのバター醤油スパゲティ」、福知山産の卵を使った「きのことベーコンのブルーチーズクリームソーススパゲティ」などの創作パスタ、及びカジュアルダイニングのメニューを提供している。
考察・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・当該アンテナショップを訪問したのが、平日の午後4時頃であったため人通りは少なく入店者も2～3名程度で閑散としており、オープンして間もないとは言えるものの、まだまだ情報発信が不足しているように感じた。 ・物販事業については、「シフォンケーキ」、「クラフトビール」、「純米酒」等の販売は好調のようであったが、店舗面積が50平方メートルと狭いことや物販棚が見えにくいこともあり、他の地域産品については売れ行きが芳しくない様子で、まだまだレイアウト検討が必要と感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・政策提言への反映 ・本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問したのがオープンして2カ月であったこともあり、まだまだ準備不足なところはあったが、場所的には大阪メトロ「肥後橋駅」のエスカレーターを上りきった場所の一番目立つ店舗なので、今後の集客に向けた取り組みに期待する。 ・福知山市の認知度向上を目的とするアンテナショップである以上、デジタルサイネージを活用した積極的な福知山市の情報発信についても、より工夫した取り組みを期待する。